

4月16日～30日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
05/04/18 (月)	東京は週末の反日デモの余波に加え株価大幅安もあり円安気味。とくにクロスで弱含みに推移。欧米はむしろドルが小安い。とくに新規材料はなかったものの米株にらみの展開で、一喜一憂続く。	・中国で大規模な反日デモと暴力行為(17日) ・週末G7で為替声明「為替レートは経済のファンダメンタルズを反映すべき」と前回表現を据え置き ・日中外相会談	・シーファー駐日大使「最近の日中間の緊張を懸念している」 ・ハイスFRB理事「インフレ圧力は過去数ヶ月でやや上昇」	107.51 107.26 108.07 107.48	138.86 138.85 140.04 139.99	寄付 安値 高値 終値
05/04/19 (火)	東京は前日から一変し株価がしっかり、それも為替市場も円高気味の展開に。欧米で円は小幅続伸。発表された米経済指標が悪く、追加利上げ観測の後退が結果円買いへ。	・4月の独ZEW景況感調査20.1 ・3月の米PPI0.7%、同住宅着工件数183.7万件	・谷垣財務相「人民元はもう少し柔軟性あったほうが良いとG7で議論」 ・ブッシュ大統領「中国が通貨変動性に向け暫定措置を検討している兆候」	107.48 106.72 107.53 106.72	139.85 139.29 140.02 139.41	寄付 安値 高値 終値
05/04/20 (水)	東京でドルは小反発。ただ積極的に買い上げる向きは少なく、全般的には様子見ムード。欧米は米株が一時大きく崩れたこともあり、対ユーロでドル軟調裡。FRB副議長発言も嫌気されていた。	・早朝福岡県で震度5強の地震 ・第1四半期中国GDPは9.5% ・3月の米CPI0.6% ・ベルルスコーニ首相が辞意表明し内閣改造へ ・テヘラン空港で飛行機墜落50人死亡	・BOE議事録「7:2で政策金利の据え置き決定」 ・ファーガソンFRB副議長「3月にソフトバッチ入りした可能性も」 ・米地区連銀報告「ビジネス活動は全管轄地域で拡大続く」	106.93 106.60 107.50 106.85	139.67 139.28 139.88 139.81	寄付 安値 高値 終値
05/04/21 (木)	東京は106円後半での一進一退。株価が一時300円を越す下落となったが影響は限定的なものに。欧米のドル/円は行って来い。ユーロが弱含み。人民元の動向をにらみつつ調整的な動きが優勢だった。	・3月の貿易黒字1兆436億円 ・3月の米景気先行指数 0.4%、4月のFF地区連銀製造業業況指数25.3	・浅川財務省為替課長「通貨の分散投資は考えていない」 ・FRB議長「米財政赤字拡大で景気停滞リスク」中国は早急に変動相場制へ移行すべきだ	106.95 106.68 107.44 106.95	140.13 139.38 140.50 139.52	寄付 安値 高値 終値
05/04/22 (金)	東京は円買い優勢。日中関係改善期待が株買い、円買いに材料に。特に大引けに掛けて動き急。欧米も円高止まらず。ドル/円は一時105円台も。ただ終盤は北朝鮮絡みのニュースから上げ渋り。	・WSJ紙「北朝鮮が核実験を計画か、断念へ中国に説得要請」	・小泉首相がアジアアフリカ会議の演説でアジア植民地支配などに対する謝罪と反省を表明 ・ユーロFRB理事「慎重な利上げ持続可能」	106.85 105.76 106.98 106.00	139.31 138.10 139.40 138.49	寄付 安値 高値 終値
05/04/25 (月)	東京は早朝にドルの安値をつけたものの、その後は急反発。補選勝利などの円買いは続かなかった。欧米はユーロが小幅安。材料や発言というよりもポジション調整的な動きが先行。	・週末の衆院補欠選で自民党2連勝、山崎拓氏政界返り咲き ・JR福知山線で列車事故発生、死者だけで100人超す未曾有の大惨事 ・4月の独IFO景況指数93.3 ・3月の中古住宅販売件数689万戸	・「中国当局、年内の人民元切り上げを否定」 ・英財務相「英国のユーロ導入は5つの条件次第」	105.68 105.56 106.07 105.67	137.87 137.02 138.04 137.43	寄付 安値 高値 終値
05/04/26 (火)	東京はドルがしっかり、日中は小動きだったが終盤に掛けてロンドン勢が対ユーロ中心にドル買い動意。欧米は方向感乏しく揉み合い。発表された米経済指標は強弱混在で判断が難しい。	・3月の失業率4.5% ・3月の米新規住宅販売143.1万件、4月の米消費者信頼感指数97.7	・谷垣財務相「緩やかながらデフレは進行している」 ・小泉首相「靖国神社参拝、適切に判断」 ・独首相「ユーロ高は依然として輸出に打撃」	105.71 105.57 106.17 106.02	137.29 137.20 137.74 137.68	寄付 安値 高値 終値
05/04/27 (水)	東京は当初ドル安からスタートするも、勢い続かず徐々にユーロ安へ。終盤は損切りを巻き込み一段安。欧米はユーロ安から円高へ。クロス円でOPバリアをヒットしたことでユーロ安・円高が加速した。独歩高商況に。	・3月の米耐久財受注 2.8% ・ホワイトハウスの空域に飛行機が進入、厳戒態勢が取られたとの一部報道あり	・韓国メディア「7月発足の韓国投資公社の資金調達のため、保有している米債の売却を検討」(のちに中銀が否定) ・米財務長官「米住宅市場にバブルは発生していない」	106.15 105.69 106.41 105.85	137.73 136.75 137.95 136.89	寄付 安値 高値 終値
05/04/28 (木)	東京はほぼ揉み合い。早朝発表された経済指標の悪化から円売りも予想されたが結局ノーインパクト。欧米はドル安。発表されたGDPが期待を裏切ったほか、利上げ観測後退などがドルの弱材料に。	・NZが政策金利の据え置き決定 ・3月の鉱工業生産指数 0.3% ・日銀が政策決定会合で現行の金融政策維持を決定 ・第1四半期米GDPは3.1%	・福井日銀総裁「政策決定は7:2の賛成多数」 ・英首相「現時点で英国がユーロ導入の可能性が高いように見えない」 ・渡辺財務官「人民元問題は中国当局に早く判断してもらおうほうが良い」	106.08 105.52 106.30 106.13	137.13 136.46 137.37 136.83	寄付 安値 高値 終値
05/04/29 (金)	東京不在の薄商いのなかドルが急落。週末&月末のためか、調整売り優勢で対円だけでなく独歩安に。欧米でもドル独歩安傾向止まらず。ドル/円はついに104円台へ。連休中の人民元切り上げ思惑も材料に。	・日本は休場 ・3月の米個人所得0.5%、同支出0.6%、4月ミシガン消費者信頼感指数87.7、同シカゴ購買部協会景気指数65.6	・一部中国紙「人民元変動幅拡大の時期が整った」 ・中国人民銀行「いまのところ人民元の変更はない」 ・匿名中国高官「為替政策変更の用意はない」	106.07 104.61 106.08 104.75	136.88 134.81 136.96 134.84	寄付 安値 高値 終値

* 製作・著作; 「FXニュースレター」

URL; <http://www.fx-newsletter.com/>